

心エコーと比較した^{スモールハート}Small heartにおける心電図同期 心筋血流^{スペクト}SPECTを用いた左室拡張能評価に関する研究

●はじめに：

近年、心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECTを用いた左室機能評価が広く行われています。

心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECTとは、静脈に放射性同位元素を注射し、放出される放射線を撮影して、放射線量をコンピュータ処理して画像にし、心筋の血流および動きをイメージングする検査です。左室機能評価には、収縮機能評価および拡張機能評価があり、循環器疾患の診断および治療において欠かせない計測項目です。しかしなが

ら、^{スモールハート}small heart(心臓の容量が小さい方)における心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECTを用いた左室拡張能評価の正確性は明らかではありません。我々は、左室拡張能評価において以前から一般的に広く用いられている心エコーの値と心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECTから得られる値を比較し、^{スモールハート}small heartにおける左室拡張能評価の正確性を明らかにする研究を行っています。

●対象：当院を受診し、平成27年9月1日から平成31年6月30日までに心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECT検査および心エコー検査を受けられた患者さんが対象です。

●方法：

- ・通常の診療で得られる検査結果と撮影される画像データを使用します。
- ・新たな追加検査をすることはなく、患者さんに余分な費用や危険は生じません。

●個人情報について：

- ・個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報は削除しています。
- ・研究結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。
- ・研究の目的以外に患者さんのデータを用いません。

●当院を受診し、平成27年9月1日から平成31年6月30日までに心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECT検査および心エコー検査を受けられた患者さんで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録などもそれ以降は研究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡を頂いた時点で既に研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が修了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

●研究期間：平成30年7月12日から平成31年12月31日まで。

●予定症例数：200例

●医学上の貢献：

心電図同期心筋血流^{スペクト}SPECT検査における左室拡張能評価の正確性が明らかとなり、安全で質の高い治療に貢献することが期待されます。

●問い合わせ先

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 放射線診断学

研究責任者 山直也

研究分担者 橋本暁佳

平日：tel) 011-611-2111(内線35350)

夜間・休日：fax) 011-621-8059 (休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい)